

## 業務実施方針

### 1. 現況交通実態調査

#### (1) 留萌市の概要

##### ①気象

##### ②人口関連

- ・行政区別の人口、高齢化率、若年者比率、人口密度の整理による、交通弱者等の分布状況
- ・近隣市町村間の移動状況(通勤・通学)

##### ③産業、公共施設及び基盤施設

- ・産業、鉄道及び道路網、公共・公益施設、学校教育施設、公営住宅団地、観光レクリエーション施設

#### (2) 輸送資源調査

##### ①路線バスの運行状況（沿岸バス）

- ・運行路線及び停留所位置、便数及び輸送人数の推移、経常費用収益及び補助金額等
- ・運行車両の状況、運転手の年齢状況

##### ②タクシー・ハイヤー

- ・運行車両の状況、運転手の年齢状況

##### ③スクールバスの運行状況

- ・運行路線及び乗降所、便数及び登録人数、車両状況、運行費用及び普通交付税額等

##### ④その他送迎交通等

- ・「へき地患者移送事業」、「温泉施設送迎車両」などその他の送迎交通の状況
- ・運行路線及び乗降所、便数及び輸送人数、車両状況、運行費用及び補助金額等

##### ⑤経常費用・経常収益等の総括

- ・上記の①から④の経常費用、経常収益、補助金及び留萌市負担金等を一覧表に整理

#### (3) 上位関連計画等による公共交通の位置づけ

##### ①上位関連計画の整理

上位関連計画における地域公共交通の位置づけや役割について整理

- ・第6次総合計画、都市計画マスタープラン、留萌市人口ビジョン及び総合戦略等

##### ②新たな公共交通等事例整理

- ・留萌市の地域公共交通を検討する上で、参考となる公共交通事例について把握する。
- ・コミュニティバス、乗合タクシー、A I 運行バス、A I 乗合タクシー、モビリティ・マネジメント、住民同士で相乗りするライドシェア運行、UDタクシー、定額タクシー、運転免許証自主返納特典制度等

#### (4) 交通事業者・関係団体へのヒアリング等

##### ①交通事業者

- ・沿岸バス、小鳩交通へのヒアリング（運転手確保にあたっての今後の見込み、公共交通体系、デマンド交通）

##### ②関係団体へのヒアリング

- ・北海道留萌振興局、北海道空知総合振興局、留萌観光協会、留萌商工会議所、MaaS推進団体

##### ③その他

- ・AI運行システムメーカーによる説明（協議会等での説明）
- ・ICTによる案内システム事例調査（旭川市、千歳市及び恵庭市）

## 2. 市民ニーズの把握調査

### (1) 市民アンケート調査

- ・市民1,650世帯を対象に世帯当たり複数名が回答可能なアンケート調査を実施
- ・調査内容は、個人属性（スマートフォン等普及状況、交通事故を回避する運転テクニックの有無を含む）、交通実態（1週間の外出の時間帯、外出目的、利用交通手段、アクセスした主要な公共・公益施設名）、公共交通に必要なサービス水準、公共交通の利用要望、利便性を向上するための施設・設備・グッズ、公共交通の利用を普及させる方法、公共交通空白地域での輸送の担い手、お勧めしたい留萌管内の観光施設 等

### (2) 高校生アンケート調査

- ・全校生徒を対象としたアンケートを実施（約500人）
- ・学校の協力を得てアンケート票を配付・回収
- ・夏期・冬期の登下校の交通手段、希望する登下校時における運行時間帯、保護者への送迎による登下校から路線バス利用への転換条件についての質問等

## 3. バス等利用実態調査

### (1) JR留萌駅・バス乗降調査

- ・JR留萌駅で便ごとの乗降客数を概ねの年齢層毎にカウント
- ・市外線は停留所ごとの乗降客数を概ねの年齢層ごとにカウント
- ・市内線は一人ひとりの乗車停留所と降車停留所を概ねの年齢層ごとにカウントして地区間の移動状況を把握
- ・市内線は可能な範囲で利用者へのヒアリング調査を実施し、バスに乗っている時間の長さ、利用目的やアクセスする公共・公益施設名、路線バスに対する要望等を把握
- ・JR留萌駅での乗降客を対象にアンケート調査を実施し、利用目的やアクセスする公共・公益施設名等を把握

## (2) タクシー利用実態調査

- ・タクシー会社の協力を得て、時間帯別のタクシーの空き状況を把握するためのタクシー利用実態調査を実施

## 4. 市民意見交換会

- ・小学校区を想定した5地域に区分して意見交換会を実施
- ・出席者一人ひとりの意見を反映するべく、路線バスなど公共交通の利便性を向上するためのプランを数案提示し、各案の長所・短所を投票してもらって意見を聞いたり、これをもとにどのプランが良いかを投票する等

## 5. 問題点と課題の整理

各調査において把握した地域概況や市民の公共交通へのニーズ等を踏まえ、持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理する。

さらに、問題点等を解消する路線バス再編の方法や、新たな公共交通についてはどのような輸送方法が妥当であるかを検討するとともに、特にA I 運行システムの導入について、交通事業者へのヒアリング等を行いながら輸送形態の方向性を示す。

## 6. 実証運行実施計画の作成

「5.」で定めたA I 運行システムによる路線バス再編について、令和4年度に実証運行を行うための実施計画を作成する。

- ・実証運行のための具体的な運行内容（運行区域、実証運行期間、実施主体、運行車両、運行時間帯、運行間隔、運賃及び運賃徴収方法、予約方法、予約体制、住民への周知方法）
- ・運行内容についての交通事業者への確認と、A I 運行システム関係会社との調整
- ・実証運行に向けた令和4年度の詳細なスケジュールの設定
- ・道路運送法に基づく申請書原案の作成（道路運送法21条申請）
- ・利用案内パンフレットの原案作成
- ・実証運行時に実施する実証運行の実態調査内容の設定

## 7. 地域公共交通計画方針案の作成

上位計画や関連計画との整合性を図りつつ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針・目標をまとめ、施策及び事業の方向性を記載した地域公共交通計画方針案を作成する。

なお地域公共交通計画は、令和4年度に行う実証運行結果に対応した内容への見直しを行う。

## 8. 地域公共交通活性化協議会の運営支援

計画の策定に向けた調査内容や、調査結果を踏まえた今後の交通体系のあり方を協議する協議会を開催する（4回程度を予定）。また、事務局との打ち合わせ・進捗確認については、リモート開催を含めて原則毎月行うものとする。

# 業 務 工 程 表

作業区分(略称)	月別 細目(略称)	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		摘 要
		10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
1. 現況交通実態調査	①留萌市の概要	18					31															
	②輸送資源調査			1			31															
	③上位関連計画等による公共交通の位置づけ			1			31															
	④交通事業者・関係団体へのヒアリング等							1														
2. 市民ニーズの把握調査	①市民アンケート調査			1																		
	②高校生アンケート調査					1																
3. バス等利用実態調査	①JR留萌駅・バス乗降調査					1																
	②タクシー利用実態調査							1														
4. 市民意見交換会												1										
5. 問題点と課題の整理													1									
6. 実証運行実施計画の作成																	1					
7. 地域公共交通計画方針案の作成	(1)活性化協議会																					
	(2)打合せ協議																					
⑧. 業務打合せ及び地域公共交通活性化協議会開催支援	(1)活性化協議会																					
	(2)打合せ協議																					